

平成27年度第3回さぬき市総合教育会議議事録

1 開催日時	平成27年12月22日(火) 開会 午後1時00分 閉会 午後2時40分			
2 場所	さぬき市教育委員会会議室			
3 出席者		市長	大山 茂樹	
		教育委員会	細川 哲士 徳田 二三男 日向 和加子 得丸 慶子 岡 裕子 安藤 正倫	
		欠席者	なし	
	事務局		総務部長	穴吹 靖昭
			健康福祉部長	山本 孝広
			教育部長	和田 浩二
			教育総務課長	間島 憲仁
			学校教育課長	谷 訓昌
			生涯学習課長	中野 敏記
			学校再編対策室長	石原 裕二
	教育総務課副主幹	富田 和希		
	その他説明等のため出席した者	なし		
4 会議に付した協議・調整事項	(1) 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱について			
5 特記事項	傍聴人2名			
6 会議内容	<p>開会</p> <p>教育部長 定刻となりましたので、平成27年度第3回さぬき市総合教育会議を開会したいと思います。なお、今回は、教育大綱の具体的な内容について協議を行う予定であることから、これまでの事務局出席者に加え、健康福祉部長及び教育委員会事務局各課室長も出席しています。また、総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき原則公開とされているところ、今回の会議では、傍聴人を受け付けていることを報告します。 開会に当たり、市長、教育委員会委員長から御挨拶をお願いします。</p> <p>市長挨拶</p> <p>市長 (挨拶)</p> <p>教育委員会委員長挨拶</p> <p>委員長 (挨拶)</p>			

協議・調整事項	
教育部長	協議・調整事項について、ここからの議事進行は、市長にお願いします。
市長	<p>では、定めに従い、次第に沿い、進めていきます。</p> <p>挨拶の中でも申し上げましたが、「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱について」ということで、さぬき市の教育大綱の案を用意しました。これにそれぞれ目を通していただき、御意見を賜りながら、この大綱が本当の意味で「全ては市民のため、全ては子どもたちのため」の大綱になるよう、忌憚のない御意見を賜りたいと思います。</p> <p>資料「さぬき市教育大綱（案）」について、事務局は説明してください。</p>
事務局	(資料 さぬき市教育大綱（案）について説明した。)
市長	<p>全体の概略的な説明が終わりました。担当の説明にもあったように、まだまだ必要なことが欠けているとか、表現の仕方や言葉遣いについて、いろいろと御意見があるかと思えます。大きくは、大綱の理念から基本的な考え方、基本的な考え方から政策の基本となる方針といった、段々に具体化したような体系で作っています。御意見があれば、何からでも構わないので発言をお願いします。</p>
教育委員	<p>非常にすっきりとまとまった、よく分かる大綱ではないかと思いました。また、市長が常に重視している「多様性」についても盛り込まれていて、良い印象を持ちました。表現に関し、「基本的な考え」の箇所、個人的には独立していても良いのではないかと思います。その円が重なることによって「多様性」が生まれてくるといった意味を持たせることも良いと感じました。</p> <p>ただ、「「生きる力」を身に付け、自ら学び続ける」とあるのは、どちらかと言うと市民又は子どもの立場の表現である一方、残る2つは「ひとを育てる」や「心を育てる」とあって、教育委員会サイド、行政サイドからの表現ではないかと思うので、どちらかにそろえた方が良いのではないかと感じました。また、オレンジの部分に記載された“ひと”と、理念にある「さぬきびと」と使い分けていることに何らかの意味があるとは思いますが、そうであれば、他の2つにも、例えば「「生きる力」を身に付け、自ら学び続ける“ひと”を育てるまちづくり」や「ふるさとを愛し、さぬき市を誇りに思う“ひと”を育てるまちづくり」とした方が、まとまりができるのではないかと思います。なお、案にある3つの基本的な考えの内容そのものについては、良いと思います。</p> <p>また、「大綱の理念」の箇所、「人間としての根っこ」とあることについて、個人的に「基（もとい）」という表現が好きで、校長時代に「人としての基を育て～」と使ったこともあり、少し格調が高い感じもするので、「基」という案もあるのではないかと思います。</p> <p>また、「政策の基本となる方針」の箇所、「いじめの防止」に触れた部分に観点として含まれているとは思いますが、やはり「人権」又は「人権教育」という語句をどこかに明記した方が良いのではないかと思います。</p>
市長	御意見、御提案等に対する回答については、全体を総括して行いたいと思います。

<p>教育委員</p>	<p>第2回の会議の時に、市長が2つのポイントを発言されたのが頭に残っています。1つの柱は、多様性。「職業選択を含めた人間の生き方としての多様性をどのように行政が保障していくか」でした。2つ目は、「いじめに対する理論的な答えではなく、緊急避難的に今の私たちがすべきこと、行政ができることは何か」でした。その答えが今すぐにでも見付かるのであれば、それ1つだけをもって教育大綱としてもよいのではないかとさえ発言されていました。その2つのポイントを柱にしてこの案を読みました。少し細かいことになりますが、5つの「基本となる方針」の中のいくつかの要素が、それぞれ方針ごとに全ての文末表現がそろっており、良く考えられた案であると全体的な印象を持ちました。また、「さぬき市らしさ」についても、1つ目の方針の中では、要素の1つ目の「答えのない課題、答えが一つとは限らない課題に対し～」の部分や要素の3つ目の「読書のまち さぬき」を掲げ～の部分に、2つ目の方針の中では、いじめについては子どものサインをどのように見付けるかというのが最大の鍵だと思うところ、そこに重点を置いている点において「さぬき市らしさ」が表れていると言ってよいと思います。さらに、2つ目の方針の要素の2つ目にある就学前教育に関して、今般の市議会での一般質問での市長や教育長の答弁において一元化を図る方向性を明らかにしていることから、就学前の子どもから中学校卒業までの学びの連続性を捉えて人育ちを考えている点において、「さぬき市らしさ」が出ていると思います。3つ目の方針の中では、要素の3つ目にある観光と交流をテーマにした長続きのするような行事が、郷土愛にもつながり、ふるさと教育にもつながると考えることから、この要素が「さぬき市らしさ」と言える部分だと思います。4つ目の方針の中では、いずれの地域においても地域の間人関係の希薄さが課題として指摘されているところですが、要素の3つ目の「地域全体で人としての育ちを支え合う環境を整える～」とあるように、地域ぐるみで人の育ちを考え、家庭教育も含めて地域でさぬきのひとづくりをしていこうとする姿勢が「さぬき市らしさ」ではないかと思えます。5つ目の方針の中では、子どもたちの体力について、これはさぬき市だけの問題ではないですが、体力の低下やスクールバスでの通学による運動量の不足が懸念されており、要素の1つ目にある体力づくりや自律性や競技力の向上といったものがさぬき市にとって大変重要であるので、さぬき市らしさを生かす項目ではないかと思えます。</p>
<p>市長</p>	<p>今の御意見については、後で総括したいと思います。</p> <p>なお、3つ目の方針の「さぬきならではの地域資源を活用する」とあるのは、これまでの御意見を聴きながら、改めて全体的に見渡したところ、市の教育大綱としては、「さぬき市ならでは」とすべきと感じましたので、「さぬき市ならではの地域資源を活用する」に修正させていただきます。</p>
<p>教育委員</p>	<p>この案を手にした印象としては、以前の検討段階での資料では「大綱の理念」の箇所に「…さぬき市の実現に向け～」とあり、この大綱は「さぬき市」のものなのか「さぬき市民」のものなのかと違和感があったところ、この案では改められており、受け入れやすいものとなったと感じました。教育大綱といえば難しいものと思いがちですが、これから子育てをしていく若い世代が手に</p>

	<p>したときに、まず見て理解しやすいものでなければならないとも思っていたところ、提案された理念を見て、改善されていると思いました。</p> <p>「根っこ」については、私はこの表現が受け入れやすいと思います。「基本的な考え」については、以前の検討段階での資料では青色だけだったのが、3色に分けられ、市章の色である青と緑という寒色に、奇抜ではない柔らかい感じのオレンジが加わったことで、エネルギーや熱いものとの説明がありました。優しさや温かみを感じることができ、イメージが良くなったと思います。</p> <p>「基本となる方針」についても、分かりやすく、整った文章で良いと思います。仕事柄、多くの子どもや保護者と接する中で、特別支援教育にも高い関心があり、市内には県立の特別支援学校もあることから、「学びの連続性」の中に、小・中の義務教育だけに限らず、卒業後の彼ら子どもたちの将来のことも含めて表現されていると良いのではないかと思います。そうすることで、支援を必要としている子どもやその保護者にとっても受け入れやすい大綱になり、さぬき市で安心して子どもを就学させ、社会に送り出すことができるのではないかと思います。3つの色が重なり合った表現も、その意図が「基本となる方針」の随所に感じられ、良いと思います。</p>
<p>教育委員</p>	<p>この案に対して、非常に分かりやすいという印象を持ちました。これまでの議論で出てきた各委員からの意見や要望を全て網羅できるようなものになっていて、すばらしいと思いました。</p> <p>ただ、3つの色に関し、オレンジと説明がありましたが、私は茶色に見えたので、オレンジであればもう少し明るい感じに変えた方が良いと思います。これを市民が見たときに、誰もがそれと分かるような色合いにした方が良いのではないかと思います。</p> <p>「大綱の理念」については、人間としての「根っこ」なり「基盤」という所をしっかりと育てておけば、それで全てが解決するものではないですが、多様性にも対応し、グローバル化にも対応することができ、そこが教育の大事な部分ではないかと常々思っていたところ、理念に「基盤」という意味の語句が入っており、また、市民に対するメッセージ性もあるので良いと思いました。個々の内容についても、こと細かなことではなく、基本的なことをさぬき市としてはしっかりやっていくというメッセージが至る所に入っているのが良いと思いました。また、ありがちなのは「〇〇市のため」に教育し、「〇〇市のため」に活躍できるような人をつくる」というものが強く打ち出されたものですが、この案を読む限りでは、「さぬきびと」としての誇りを持って、いろんな所で活躍してほしいという趣旨が読み取れることから、この点についても良いと思います。また、既にとても分かりやすい文言で書かれてありますが、これを市民がホームページ等で読んだときに、市民にとって、ずっと入ってくるよう、誰が読んでも理解ができるよう、子どもが読んでも分かってもらえるよう、更に書き方を工夫してもよいのではないかと思います。</p>
<p>教育委員</p>	<p>分かりやすい大綱案だと思います。前回会議以降これまで、大事なことは何かと考えていたところですが、やはり、人間としての根っこを育てるということ、どれだけ土の中に根を張らせてあげられるかが、未来に続く子どもを育て</p>

	<p>るのではないかと思います。その根を深く深くしっかり根付かせることが、子どもを成長させることだと感じていたので、それが「生きる力」にもつながり、多様性のある子どもを育て、万が一いじめられたとしてもそれに抵抗できるぐらいの強い子を育てられるのではないかと思います。「根っこを育てる」という文言に着目して、この案を読んだところです。その中で、まず、1つ目の方針の中では、要素の1つ目の「答えのない課題、答えが一つとは限らない課題に対し～」の部分に表れていると思います。また、2つ目の方針の中では、要素の3つ目の「数値だけでは計ることのできない子どもの長所を伸ばし、一人ひとりの頑張りを認める～」の部分がとても大事なことだと思います。3つ目の方針の中では、要素の1つ目の「…理解と愛情を持ち、次世代へ確実に継承しようとする姿勢を育み～」の部分や、4つ目の方針では要素の3つ目の「…家庭の教育力～」の部分と「…保護者が子どもの育ちに喜びや生きがいを感じることができる親育ちを支援～」の部分がとても大事だと思います。幼稚園からの教育が子どもたちにとってどれだけ大切かということ、委員になってこの1年半の間に教えられたところです。5つ目の方針の中では、要素の3つ目の「…健康に人生を生き抜く知識と技能を培い～」の部分がとても大事だと思うとともに、「生きる力」を身に付けさせることが、子どもにとって一番大切なことではないかと思います。また、3つの色については、分かりやすく、案のとおり緑とオレンジと青が良いと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>「基本的な考え方」に関し、3つの視点の文言については、大綱はまちづくりのために作るのか、ひとづくりのために作るのかを考えたところ、「…自ら学び続けるまちづくり」と「…地域で“ひと”を育てるまちづくり」とでは、同じ「〇〇をするまちづくり」とあっても少し意味が異なる気がするので、少し再考する余地があるのではないかと思います。また、「人権教育」については、1つ目の方針の要素の2つ目中「相手の立場や考え方の違いを認め」の次に、例えば「、個々それぞれの人権を尊重し」を加えてはどうかと思います。「人権教育」は、さぬき市の教育における重点の1つでもあることから、「人権」又は「人権教育」という語句を明記した方が良いのではないかと思います。また、5つ目の方針の中で、歴史とスポーツを組み合わせた観点をもう少し盛り込むことができれば良いのではないかと思います。さぬき市には、古墳や史跡もあるので、これらとミックスした体力増強のための施策が増えても良いのではないかと考えています。</p>
<p>市長</p>	<p>日頃感じているのは、全てに共通するのは「意識」です。そして、意識だけでは他の人を説得できないので、万人が分かるような「知識」も必要です。さらに、今の世の中には意識と知識、3番目には「行動」が必要だと思っています。自分はこう思って、そのための勉強をしたけれども、それが自分だけに留まっているということは、社会にとって非常に損失だと思います。その人の人生を決して豊かにするものではないと思います。子どもには、いつも意識を高め、知識を深め、そして行動に移せと言っており、今回、こういったことも内容に盛り込んだつもりであるし、もう一つは、よく読むと、結構、「家庭教育や地域の教育力をちゃんとしてくださいよ」ということを暗に訴える内容にし</p>

	<p>ています。つまり、保護者に対して注文を付けた大綱になっています。柔らかく「家庭教育は大事ですよ」と言い、「…家庭の教育力を高め～」とあるところ、教育委員会や市が高める部分もありますが、自ら高めてもらわないといけないし、地域の人も、困ったことばかり言うのではなく、地域として子どもを育ててくださいよというメッセージも込めているものです。もしかしたら、よく読んだ方からは、きついことを書いているなどと言われるかもしれませんが、この大綱は、これが完成品ではなく、これが公表されることによって、このことを1つの素材として議論が生まれ、もっと高い大綱になるよう、みんなで作ってもらいたいという意図も読み取れるものになっていると思います。</p> <p>「基本的な考え」の各視点の主語や述語など使っている用語が必ずしも統一できていないのは、御指摘のとおりです。例えば、「まちづくり」か「人づくり」なのか、「まちづくりが人づくりにつながるのか」「人づくりがまちづくりにつながるのか」、言葉の整理をさせていただきたいと思います。また、同じ「ひと」でも、「基本的な考え」のオレンジの中の“ひと”と「理念」の中の「さぬきびと」は、よく似た言葉であって、同一ではない部分もあり、もう少し精査させていただきたいと思います。</p> <p>「根っこ」については、「基（もとい）」の方が良いのではないかとの意見もありましたが、「根っこ」というのは、平易で分かりやすい言葉であり、「基」に比べると格調に劣るかもしれません。しかし、個人的には「性根（しょうね）」という言葉が好きなのですが、日本語としてはまだ熟していないので、この大綱に使うのは適当ではないと思われ、「根」や「根っこ」も好きな言葉であることから、「基」ではなく「根っこ」とすることに御理解いただきたいと思います。</p> <p>人権については、内容としては盛り込んでいるつもりですが、確かに、字面だけを見ると人権の要素が弱いという印象かもしれません。</p> <p>歴史とスポーツとの融合については、どのように表現できるかは少し検討させていただきたいと思います。</p> <p>この案に対し、おおむね良しとの評価を頂いたと理解しているところですが、頂いた御意見については、加味できることは加味したいと思います。行政の文書は、基本的には中学生が読んで理解できるというのをベースにしていますが、少しテクニカルなものが入ってくると分かりにくいとは思いますが、もう少し平易な表現が良いですか。できればずっと読んでずっと入るような表現があれば考えてほしいという希望という理解でよろしいですか。</p>
<p>教育委員</p>	<p>これでも十分だとは思いますが、更にもう少し練れば、更にもっと良くなるのではないかという趣旨です。</p>
<p>市長</p>	<p>いじめのことについては、今回提案しているような表現にとどめていますが、次の段階では、この大綱を踏まえた具体的な方策、明日では遅いというような取組について、教育委員会と協議しながら進めていきたいと思っています。</p> <p>また、多様性については、様々な箇所に盛り込んでいるところですが、なぜ多様性にこだわるかと言うと、多様性を認めない限り、少数者はいつまで経っ</p>

	<p>でも報われないのです。多様性を認めない社会というのは、みんなと同じでないと認められない社会と言えます。教育という知的レベルの高い分野において、多様性を認めず、偏差値で決めるということは、あってはならないことだと思います。ただ、今の社会は、「効率的な社会」を求める風潮があり、多様な子ども、少数者は、どちらかと言えば「社会」にとってすぐに役立つものではなく、その人がいることで物理的なメリットがあるかといえばそうではないと思われがちです。しかし、そういう人を全部包み込むような社会でなければ将来の社会としては十分ではないという意識を、教育、特に家庭教育において、保護者が子どもたちに教えてほしいと思っています。すぐには富を生み出さないというような存在であっても、少なくとも学校に居場所があるという状況を作り、次には社会の中にも居場所があるというように広げていければと思います。学校にも居場所がない者が、社会に出たら居場所があるかと言えばそうはいかないもので、そのようなことを「多様性」という言葉の中で表現できるかどうかわかりませんが、是非具体的なものを政策の方向性の中に入れてほしいと思った次第です。</p>
事務局	<p>先ほど各教育委員から御指摘等のあった内容について、説明します。</p> <p>「基本的な考え」の箇所の色に関して、オレンジと説明した部分が茶色にも見えることについては、検討段階において茶色として「里」又は「大地」と意味付けるといった案もありましたが、書かれてある内容が「ひと」に関するものであったことから、市民の情熱やエネルギーという意味を込めて太陽の赤みをオレンジで表現しようとしたものです。なお、色合いについては、よりオレンジらしさが出るような調整を行います。また、「基本的な考え」の箇所の各文言については、いくつかの案がある中で、「…まちづくり」の直前の部分を「続ける」「育てる」と、全て能動的な表現にそろえた結果です。大綱案全体を通して、文末表現を統一するようにしていますが、必ずしも全ての箇所について統一されていなくてもよいとの考えもあることから、再度検討し、修正したいと思います。</p> <p>なお、「人」の漢字とひらがなが混在しているのは、ひらがなの場合、漢字よりも人格の印象を加味したつもりのものであります。</p>
市長	<p>「基本的な考え」のオレンジの箇所にある、ひらがなの「ひと」と漢字の「人」は示す意味が異なるとのことで、ひらがなで「ひと」とあるのは、イコールではないものの、「理念」の箇所にある「さぬきびと」に近い意味合いを持つと考えられます。このことから、当該文章の前半と後半の順序を入れ替えた方が、より分かりやすいかもしれません。</p>
教育長	<p>確かに文章の順序を入れ替えた方が、分かりやすいと思います。</p>
市長	<p>一見、順序を入れ替えても同じようなこと書いているようですが、全く意味が異なるものになります。</p>
教育委員	<p>今の状態であれば、ひらがなの「ひと」は、理念にある「さぬきびと」を示すととらえられる一方、「さぬきびと」は「基本的な考え」の3つ視点が備わった人間像ともとらえることができ、そうすると、かぎ括弧で強調した場</p>

	<p>合、その「ひと」が指すものは何かと疑問が生じてしまう気がします。例えば、「…喜びのあふれる人を育てる」とか「輝く人を育てる」とか「希望あふれる人を育てる」といったより具体的な表現にすれば「ひと」が指す内容が伝わりやすいのではないかと思います。ただ、市長が言うように当該文章の前半と後半の順序を入れ替えてみるのもよいと思います。</p>
市長	<p>それでは、部分的な議論になりつつあり、修正するとしても、目で見える形にして全体的に確認する方がよいと思いますので、事務局とともに再度練り、もう一度提案させていただき、確認をしていただければと思います。よろしいですか。</p>
事務局	<p>3点補足させていただきます。</p> <p>特別支援学校の子どもや、その卒業した後のことについては、大綱ゆえに複数の内容を同時に包含するような大きな表現となっているところ、2つ目の方針「安全に安心して学び続けられる環境を整える」の要素の3つ目の後半部分に「…様々な困難を有する子ども・若者の成長に対し、切れ目のない支援～」とあり、この部分に含まれるものと意図していましたが、多くの市民の皆さんにとって伝わりにくいものであれば、表現を変えたり語句を加えたりすることも検討したいと思います。</p> <p>歴史とスポーツとの融合に関する内容を5つ目の方針にも加えてはどうかとの御提案については、確かに「健康」に対して様々な切り口があってよいところですが、特に歴史については「さぬき市ならでは」の要素が色濃く、また、それぞれの方針ごとに一定程度のまとまりも必要と考えたことから、「地域資源を活用」した取組の中で整理していたものです。それぞれの方針をまたがる「重なり合う」ことと、方針ごとのまとまりのバランスについて再度検討したいと思います。</p> <p>大綱を子どもにも分かりやすい言葉で表現するとの御提案については、できるだけ平易な言葉を用いつつ、一方で他に誤解を生じさせない表現にも気を配って作成したつもりです。ついては、大綱で使用する語句・表現については、この程度のものとし、例えば概要版の作成する際には、より子どもにも伝わりやすい表現の工夫を検討するという事で御理解をいただければと考えています。</p> <p>「人権」に関する御指摘については、1つ目の方針の要素の2つ目に加筆する方向で文言を検討したいと思います。</p>
市長	<p>時間の都合もあるようですので、本日頂いた御意見等を踏まえて年内に精査し、改めて修正案を提案させていただきますので、御確認いただき、次の機会に最終をまとめるということによろしいですか。</p>
教育委員	<p>(異議なしの声)</p>
市長	<p>今後の会議の在り方については、</p> <p>大綱といったものは、作った後のフォロー、チェックが大事だと思っています。できていないものがあれば、どのような理由でできていないのかを考え、ではこうすればできるのではないかといった議論をし、更に次の大綱の見直し</p>

	<p>の際に反映させていくなど、我々も成長していかなければならないと思います。子どもにだけ「成長しろ」と言い、大人はじっとしているのは駄目です。大人も成長するといった見本こそが、本当の意味での子どもたちの励みになるのではないかと思います。このようなことから、機会あるごとに集まり、議論していきたいと考えているところで、詳細については、事務局で検討させていただきたいと思いますが、いかがですか。</p>
教育委員	(異議なしの声)
市長	<p>今回は、教育大綱の採決というか、決定には至りませんでしたがおおむねの方向性は御賛同いただいたと理解しています。字句の訂正や頂いた御意見等を実際の文章にして、できるだけ早めにお渡しして、再度見ていただいた上で、次の会議ではこのことに一区切りを付け、その後は、大綱を実践に移すための実質的な議論をさせていただきたいと思いますので、その際にも貴重な御意見を賜りますようお願い申し上げます、本日の総合教育会議を閉じたいと思います。</p>
閉 会	
教育部長	以上で、平成27年度第3回さぬき市総合教育会議を閉会します。